

# PD 患者さんのための COVID-19 の予防・感染対策

COVID-19 に罹患しないため・罹患したときに  
知っておきたいこと！



はじめに

2019年12月以降に中国湖北省武漢市を中心に発生した肺炎患者は、新型コロナウイルス感染症COVID-19と命名され、現在は世界中に広がっており、世界保健機関（WHO）はその発生状況がパンデミック（世界的な大流行）に該当すると発表しました。日本国内では、2020年1月15日に肺炎患者からCOVID-19が検出され、以降は徐々に関連肺炎患者が全国に増加していきました。

透析患者さんについては、日本透析医学会及び日本透析医会が共同の声明を発表し、COVID-19では透析患者さんがハイリスクであることに加え、腎臓の合併症が重要であることが報告されており、また、特に血液透析の施設環境は集団治療が一般的であることによりクラスター感染の危険性が高く、その感染防止のためには特別な注意を要するとしています。

一方、腹膜透析患者さんのCOVID-19との関わりについては、まだまだ情報が不足しています。腹膜透析は基本的に在宅医療であり、施設で一緒に血液透析を行う場合と異なり、3密（密閉・密集・密接）になりにくいメリットがあります。ただ、それだけに情報不足や閉塞感が強く感じられることがあるかもしれません。COVID-19は今後蔓延化が指摘されており、ワクチン開発などがなければ、長く付き合っていかなければなりません。しかし、正しい知識と対処が感染の予防、重症化阻止につながることも分かってきています。本パンフレットは腹膜透析の患者さん、家族、スタッフの皆さんに腹膜透析とCOVID-19感染との関わりを状況毎に説明し、少しでも適切な対応と安心を得て頂きたいと作成しました。



土谷 健

東京女子医科大学 血液浄化療法科教授

目次	
はじめに	… 1
目次 早見表	… 4
I. PD 患者さん（ご自身）または家族（介助者）等が COVID-19 に罹患したか？ 分からない場合の注意・確認事項並びに生活様式（情報提供）	… 5
1. PD 患者さん（ご自身）および家族（介助者）共通で実施・確認	… 5
2. 検温時、最初に 37.5℃以上の体温が認められた場合または発熱の無い 急性の呼吸器感染症の症状（息切れ、咳、喉の痛みなど）が認められた場合	… 5
3. 新しい生活様式」の実践例、PD 患者さん（ご自身）および家族（介助者） 共通で実施・確認（スライド）	… 6
① 一人ひとりの 基本的感染対策	… 6
② 日常生活を営む上での基本的な生活様式	… 6
③ 日常生活の各場面別の生活様式	… 6
④ 働き方の新しいスタイル	… 7
II. 腹膜透析（PD）患者さんまたは家族（介助者）等が COVID-19 に感染した場合の 注意・確認事項並びに生活様式（情報提供）	… 8
1. PD 患者さん（ご自身）が COVID-19 に感染した場合の 注意・確認事項並びに生活様式	… 8
① PD 患者さんが COVID-19 に感染した場合（施設連絡等）	… 8
② PD 患者さんが COVID-19 に感染し、施設から入院の指示がでた場合	… 8
③ PD 患者さんが COVID-19 に感染し、施設から自宅療養の指示がでた場合	… 8
2. 家族または介助者等が COVID-19 に感染した場合の PD 患者さんの 注意・確認事項並びに生活様式	… 9
① 家族または介助者等が COVID-19 に感染した場合（施設連絡）	… 9
② COVID-19 に感染した家族または介助者等が入院する際には	… 9
③ COVID-19 に感染した家族または介助者等が自宅療養となったら	… 10
III. 腹膜透析（PD）患者さんまたは家族（介助者）等が COVID-19 に 感染した場合のバッグ交換方法（情報提供）	… 11
1. PD 患者さんが COVID-19 に感染した場合の PD バッグ交換	… 11
① PD 患者さんご自身が行う場合	… 11
② 家族または介助者等が PD バッグ交換を行う場合	… 12
2. 家族または介助者等が COVID-19 に感染した場合のバッグ交換方法	… 13
① PD 患者さんご自身が行う場合	… 13
② COVID-19 に感染していない家族または介助者等が PD バッグ交換を行う場合	… 14
IV. PD 患者さんへの緊急時（営業）対応の方法 [企業営業員]	… 15
1. COVID-19 未感染、感染不明の PD 患者さんへの対応 [企業営業員]	… 15

① 事前確認	… 15
② PD 患者さん宅訪問前確認	… 15
③ 患者さん宅での対応	… 15
④ 患者さん対応後、患者さん宅退出後、帰社後	… 16
2. COVID-19 感染、感染履歴のある PD 患者さんへの対応	
（感染履歴のある PD 患者さんとは、治癒後 14 日以内の患者さん） [企業営業員]	… 16
① 事前確認	… 16
② PD 患者さん訪問前確認	… 16
③ 患者さん宅での対応	… 17
④ 患者さん対応後、患者さん宅退出後、帰社後	… 17
3. 同居の家族又は介助者等が COVID-19 に感染し、自宅療養している PD 患者さんへの対応 [企業営業員]	… 18
付録. COVID-19 の感染防御に役立つ知識（情報提供）	… 19
1. 手洗い・うがいの方法	… 19
2. マスクの着け方、外し方	… 20
3. 防護服（PPE）等の着用、脱衣方法	… 20
4. 防護服等の代用品	… 22
5. ポリ袋防護服の作製方法（簡易ポリ袋防護服）	… 22
6. フェイスシールドの作製方法（簡易フェイスシールド）	… 24
7. 次亜塩素酸系消毒液の作製方法	… 25
参考（花王株式会社 HP お問い合わせ（Q&A））	… 26
ダイジェスト版（プレゼンテーション）	
PD 患者さんのための COVID-19 の予防・感染対策	… 27
COVID-19 感染予防対策	… 27
－新しい生活様式、COVID-19 に罹患しないために守ること！－	
COVID-19 に感染した腹膜透析患者の腹膜透析実施・管理手技指導	… 31
－患者さんが適切な腹膜透析をご家庭で行うための情報提供－	
参考資料 －COVID-19 の予防・感染対策－	… 36
監修者	… 40
参考資料	… 41

### COVID-19の感染の予防・確認の注意・確認事項

発熱がある ⇒ いいえ ⇒ 5ページ, 1. 参照



はい ⇒ 5ページ, 2. 参照 ⇒ COVID-19では無かった  
⇒ 5ページ, 1. 参照



COVID-19に罹患した ⇒ 家族または介助者等（同居者）  
⇒ 9ページ, 2. 参照



PD患者さん（ご自身）  
⇒ 8ページ, 1. 参照

### PD患者さん（ご自身）がCOVID-19に感染した時のバッグ交換

バッグ  
交換 ⇒

PD患者さん  
（ご自身）

⇒ 11ページ, ① 参照

⇒

家族または介助者等  
（同居者）

⇒ 12ページ, ② 参照

### 家族または介助者等（同居者）がCOVID-19に感染した時のバッグ交換

バッグ  
交換 ⇒

PD患者さん  
（ご自身）

⇒ 13ページ, ① 参照

⇒

感染していない  
家族または介助者等  
（同居者）

⇒ 14ページ, ② 参照

## I. PD 患者さん（ご自身）または家族（介助者）等が COVID-19 に罹患したか、否か分からない場合の注意・確認事項並びに生活様式（情報提供）

### 1. PD 患者さん（ご自身）および家族（介助者）共通で実施・確認

- ① 毎日、朝・晩（場合により、日中）2～3回の検温の実施。
- ② 急性の呼吸器感染症の症状（息切れ、咳、喉の痛みなど）が認められるか、自身健康状態の確認の実施。
- ③ 食事前、屋外作業後の手洗い、うがいの実施。
- ④ ソーシャルディスタンス（屋外：2 m以上、屋内1 m以上）を確保する。
- ⑤ 腹膜炎などの他の発熱疾患のチェック。

### 2. 検温時、最初に 37.5℃以上（または明らかに平熱より高い）の発熱が認められた場合または発熱の無い急性の呼吸器感染症の症状（息切れ、咳、喉の痛みなど）が認められた場合

- ① PD 患者さんご自身の場合、施設に連絡を入れ、指示を仰ぐ。その場合、家族または介助者等、同居者は、当該 PD 患者さんとは別室で過ごす。
- ② 家族または介助者等、同居者に認められた場合は、当該同居者とは別室で過ごす。  
基本的に、施設に連絡を入れ、指示を仰ぐ。
- ③ 共通生活部分の使用または同室を使用する場合は、必ずマスクを着用（付録2）する（ソーシャルディスタンスは確保すること）。また、使用后、必ず、手洗い、うがいの実施（付録1）。
- ④ 明らかに平熱より高い発熱が認められた場合または発熱の無い急性の呼吸器感染症の症状が認められた場合、PD 患者さん（ご自身）または家族（介助者）等は2～3日間の外出を禁止する。
- ⑤ 数日（2～3日間）で発熱や急性の呼吸器感染症の症状が軽快しても、できるだけ14日間の不要不急の外出を避ける。
- ⑥ 軽快後14日以内に、再度、明らかに平熱より高い発熱または発熱の無い急性の呼吸器感染症症状の再発が認められた場合、施設に連絡を入れ、指示を仰ぐ。  
場合により、保健所等に連絡をして、指示を仰ぐ。（家族または介助者等、同居者の場合は保健所等に連絡し、指示を仰ぐ）
- ⑦ 外部からの不要不急の訪問者は受け入れない。

### 3. 新しい生活様式」の実践例、PD 患者さん（ご自身）および家族（介助者）共通で実施・確認

#### ① 一人ひとりの 基本的感染対策

1) 感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い（☑：チェックしてみよう）

- 人との間隔は、できるだけ2 m（最低1 m）空ける。
  - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
  - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
  - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。  
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
  - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

2) 移動に関する感染対策（☑：チェックしてみよう）

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

#### ② 日常生活を営む上での基本的な生活様式（☑：チェックしてみよう）

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



#### ③ 日常生活の各場面別の生活様式

1) 買い物（☑：チェックしてみよう）

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

2) 娯楽、スポーツ等 (☑: チェックしてみましょう)

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を、もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

3) 公共交通機関の利用 (☑: チェックしてみましょう)

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

4) 食事 (☑: チェックしてみましょう)

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

5) イベント等への参加 (☑: チェックしてみましょう)

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

③ 働き方の新しいスタイル (☑: チェックしてみましょう)

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

## II. 腹膜透析（PD）患者さんまたは家族（介助者）等が COVID-19 に感染した場合の注意・確認事項並びに生活様式（情報提供）

### 1. PD 患者さん（ご自身）が COVID-19 に感染した場合の注意・確認事項並びに生活様式

#### ① PD 患者さんが COVID-19 に感染した場合（施設連絡等）

- 1) 保健所等の指示がある場合、その指示に従う。
- 2) 施設と連絡をとり、ご自身の対応について指示を仰ぐ。
- 3) できる限り、入院を最優先していただくようお願いする。

（入院の場合 ⇒ 下述②に進む，自宅療養の場合 ⇒ 下述③に進む）

ただし、入院の場合、通院施設に入院できない事もあり、その場合、COVID-19 感染患者を受け入れる施設で、かつ PD の診療ができる施設への紹介入院となる。

#### ② PD 患者さんが COVID-19 に感染し、施設から入院の指示がでた場合

- 1) マスクを着用し、入院の準備を整える。
- 2) 準備はできるだけ家族（介助者）等をお願いし、COVID-19 に感染した PD 患者さんは加療している部屋から出ないようにする。
- 3) ご自身で準備する場合も、できるだけ居室内の移動を減らし、移動した（接触した）箇所は消毒をしながら移動する。
- 4) 病院までの移動手段が家族（介助者）等で確保できる場合、COVID-19 に感染した PD 患者さんの全身を毛布等で包み、自動車等に乗せ、入院する病院の指定の場所まで送迎する。この時、送迎する家族は最小人数（1 名）でマスク、手袋及びゴーグル（又はメガネ）を着用（付録 2、3）し、自動車の全て窓は換気のため、半分以上開けるようにする。
- 5) 病院までの移動手段が確保できない場合、保健所または病院の指示を仰ぎ、指定された移動手段で病院に移動する。
- 6) 病院では医療関係者等の指示に従い、入院する。送迎時に使用した毛布等は、大きなゴミ袋等に入れて持ち帰り、洗濯をする（洗濯をすればウイルスは洗い流される）。
- 7) 送迎した自動車等の車内を十分に消毒する。COVID-19 に感染した PD 患者さんの居た部屋及び接触した部分の消毒を行う。その後、必ず、手洗い、うがいの実施（付録 1）。

#### ③ PD 患者さんが COVID-19 に感染し、施設から自宅療養の指示がでた場合

- 1) 加療中は、同居者と別室で過ごす。1 日 2 回、自身の健康状態を確認し、1 日 1 回、保健所（及び施設）に報告する。同居者は自身の健康状態を確認し、症状（発熱、咳、鼻水など）があれば保健所に報告する。
- 2) 別室が確保できない場合、同室内の全員がマスクを（できればメガネ等も）着用（付録 2）し、少なくとも 1 メートルの間隔を保つ。カーテン等で居室を仕切ることができる場合は、仕切を設けることが望ましい。また、室内の換気を十分に行う。
- 3) 外部からの不要不急の訪問者は受け入れない。
- 4) 同居者がいる場合、同じ部屋の出入りを避ける。居室を移動する場合は、マスクを（できれば

- メガネ等も）着用（付録2）し、流水と石鹼又は擦式アルコール性消毒薬による手洗いをを行う（付録1）。触ったところを消毒しながら移動する。
- 5) 患者さん専用の洗面所・トイレを確保することが望ましい。洗面所・トイレを共用する場合は、十分な清掃（消毒）と換気を行う。入浴は家族の中で最後に行う。
  - 6) ご自身でPD液交換ができる場合、ご自身で行う。
  - 7) 同居者がPD液交換をする場合、防護服等を着用することが好ましい。

## 2. 家族または介助者等が COVID-19 に感染した場合の PD 患者さんの注意・確認事項並びに生活様式

### ① 家族または介助者等が COVID-19 に感染した場合（施設連絡）

- 1) 保健所等の指示がある場合、その指示に従う。
- 2) 施設と連絡をとり、ご自身の対応について指示を仰ぐ。
- 3) 感染した家族または介助者等が入院の場合、当該感染者の居た部屋及び接触した部分の消毒を行う。（⇒ 下述②に進む）
- 4) 感染した家族または介助者が自宅療養の場合、できる限り、PD 患者さんの家庭内感染を防ぐため、同居宅外（親せき宅、ホテルや社会的入院）での生活を行う。（⇒ 下述③に進む）

### ② COVID-19 に感染した家族または介助者等が入院する際には

- 1) マスクを着用し、家族（介助者）等の入院の準備は、その他の家族（介助者）等にお願ひし、PD 患者さんは部屋から出ないようにする。
- 2) やむを得ず PD 患者さんが準備する場合もマスク、手袋及びゴーグル（又はメガネ）を着用（付録2, 3）し、感染した家族または介助者等とは別室で準備する。感染した家族または介助者等は加療中の部屋から出ない（出さない）。
- 3) 病院までの移動手段が家族（介助者）等で確保できる場合、COVID-19 に感染した家族（介助者）等の全身を毛布等で包み、自動車等に乗せ、入院する病院の指定の場所まで送迎する。この時、送迎する家族は最小人数（1名）でマスク、手袋及びゴーグル（又はメガネ）を着用（付録2, 3）し、自動車の全て窓は換気のため、半分以上開けるように伝える。
- 4) やむを得ず PD 患者さんが病院まで送迎する場合、PD 患者さんはマスク、手袋及びゴーグル（又はメガネ）を着用（付録2, 3）し、COVID-19 に感染した家族または介助者等は毛布等で全身を包み、自動車等に乗込み、入院する病院の指定の場所まで送迎する。この時、自動車の全て窓は換気のため、半分以上開けるようにする。
- 5) 病院までの移動手段が確保できない場合、保健所または病院の指示を仰ぎ、指定された移動手段で病院に移動する。
- 6) 病院では医療関係者等の指示に従い、当該家族または介助者等は入院する。送迎時に使用した毛布等は、大きなゴミ袋等に入れて持ち帰り、洗濯をする（洗濯をすればウイルスは洗い流される）。
- 7) 送迎した自動車等の車内を十分に消毒する。COVID-19 に感染した家族または介助者等の居た部屋及び接触した部分の消毒を行う。その後、必ず、手洗い、うがいの実施（付録1）。

③ COVID-19 に感染した家族または介助者等が自宅療養となったら

- 1) 感染したご家族または介助者等が自宅療養の場合、できる限り、PD 患者さんの家庭内感染を防ぐため、入院を最優先していただくようお願いする。難しい場合は、親せきの居宅又はホテル等などの宿泊を考慮する（PD 患者さんは重篤な合併症を有しているため）。
- 2) 入院や親戚の居宅又はホテル等などの宿泊も難しく、やむを得ず、感染した家族または介助者等と同居宅内で過ごす場合、当該感染者と別室で過ごす。PD 患者さんは 1 日 2 回、自身の健康状態を確認し（施設からの指示があれば 1 日 1 回、施設に報告する）、症状（発熱、咳、鼻水など）があれば保健所（及び施設）に報告する。感染していない同居者も自身の健康状態を確認し、症状（発熱、咳、鼻水など）があれば保健所に報告する。
- 3) 別室が確保できない場合、同居宅内の全員がマスクを（できればメガネ等も）着用（付録 2）し、少なくとも 1メートルの間隔を保つ。カーテン等で居室内を仕切ることができる場合は、仕切りを設けることが望ましい。また、室内の換気を十分に行う。
- 4) 外部からの不要不急の訪問者は受け入れない。
- 5) 当該感染者がいる場合、同じ部屋の出入りを避ける。居室内を移動する場合は、マスクを（できればメガネ等も）着用（付録 2）し、流水と石鹸又は擦式アルコール性消毒薬による手洗いをを行う（付録 1）。ドアノブ、手すりや家具等、触る前に消毒して移動する。
- 6) 当該感染者専用の洗面所・トイレを確保することが望ましい。洗面所・トイレを共用する場合は、十分な清掃（消毒）と換気を行う。入浴は感染対象者を最後に入浴させる。
- 7) PD 液交換は、ご自身でできる場合はご自身で行う（できない場合は施設と要相談）。

### Ⅲ. 腹膜透析（PD）患者さんまたは家族（介助者）等が COVID-19 に感染した場合のバッグ交換方法（情報提供）

※注意 医療機関の指定する COVID-19 感染予防対応マニュアルがある場合、施設指定するマニュアルに従い加療してください。施設指定のマニュアルがない場合、本マニュアルを活用してください。

#### 1. PD 患者さんが COVID-19 に感染した場合の PD バッグ交換

##### ① PD 患者さんご自身が行う場合

##### 1) 準備

- i) 加療中の部屋またはバッグ交換専用の部屋に、準備するもの
  - ・ PD バッグ交換に必要な物品
  - ・ 使用した交換セット等の廃棄物を捨てる小さなゴミ袋（毎回）
  - ・ 1 回毎に出たゴミ袋をまとめて捨てる大きなゴミ袋（ゴミ箱）
- ii) 排液を捨てるトイレに、準備するもの
  - ・ 排液を消毒するための漂白剤（例えば、ハイター・キッチンハイターなど）
  - ・ 排液を捨てた後の空バッグを廃棄するためのゴミ袋を準備する。

##### 2) バッグ交換

- i) 施設からの特別な指示がない場合、バッグ交換は通常の手順で行う。
- ii) バッグ交換時は、換気等の COVID-19 対策を一時中止し、通常のバッグ交換環境下で行う。

##### 3) バッグ交換後の処理

- i) バッグ交換で出たゴミを小さなゴミ袋にまとめて入れて口をしぼり、大きなゴミ袋に廃棄する。
- ii) 排液の廃棄は、その処理での汚染回数を減らすため、1 日 1 回として最後のバッグ交換後に 1 日分の排液をまとめて廃棄することが望ましい。
- iii) 排液を水洗トイレに捨てる前に、漂白剤（例えば、ハイター・キッチンハイターなど）をキャップ 1 杯、溜まり水に入れてから排液 1 バッグを捨てる。続けて、排液を捨てる場合は、水洗せずに、漂白剤（例えば、ハイター・キッチンハイターなど）キャップ 1 杯、溜まり水に入れてから、排液 1 バッグを捨てる処理を繰り返す。洋式トイレの場合、水の飛び散りを防ぐため、フタを閉めてから水洗することが望ましい。
- iv) 排液の処理及び処理後の排液バッグをゴミ袋に入れて、ゴミ袋の入り口をしっかりと縛り、縛った部分の消毒を行ってから、大きなゴミ袋に捨てる。その後、しっかりと手の消毒をする（付録 1）。

##### 4) 物品の廃棄方法

- i) バッグ交換時に出的廃棄物（交換セットや排液バッグ等）は、大きなゴミ袋に 2～3 日分をまとめて、家庭ごみとして廃棄する。
- ii) ゴミを集配場所に持っていく場合
  - ・ 家族または介助者等
    - 2～3 日分をまとめた大きなゴミ袋の出し入れ口を結び、加療中の部屋の前に出す。家族または介助者等はそのゴミ袋に触れないように、そのゴミ袋をさらにゴミ袋に入れて、ゴミ袋の出し入れ口を結ぶ。結んだ持ち手部分（できれば全体）を消毒してから持ち出す。

- ・ COVID-19 に感染した PD 患者さん（ご自身）  
2～3 日分をまとめた大きなゴミ袋の出し入れ口を結び、結んだ持ち手部分（できれば全体）を消毒してから持ち出す。
- iii) ゴミを集配場所に出して、家に入る前には、必ず手の消毒または良く洗浄する（付録 1）。

## ② 家族または介助者等が PD バッグ交換を行う場合

### 1) 準備

- i) COVID-19 の家庭内感染を予防するため、防護服等またはその代用品（付録 4）を着衣して、COVID-19 に感染した PD 患者さんのバッグ交換をする。

- ・ 防護服等または代用品 [防護服等とは、a)マスク、b)防護服、c)手袋、d)ゴーグル・フェイスシールド等、e)ヘアキャップ、f)足袋]（付録 4、5、6）

- ii) 着用した防護服等を脱衣する場所を決める。

脱衣場所は COVID-19 の付着した防護服等を脱ぐため、

- ・ 消毒しやすい場所
- ・ 加療部屋から離れていない場所
- ・ 感染していない人の出入りの少ない場所

などが望ましい。例えば、消毒しやすい場所として浴室などが考えられる。

（防護服等を着衣する場所は、COVID-19 感染 PD 患者さんの加療している部屋以外であれば、どこでも良い）

- iii) 防護服等脱衣場所に、準備するもの

- ・ 使用済みの防護服等を廃棄するゴミ袋
- ・ 脱衣時、脱衣後に使用する消毒液等

- iv) COVID-19 感染 PD 患者さんの加療している部屋に、準備するもの

- ・ PD バッグ交換に必要な物品
- ・ 使用した交換セット等の廃棄物を捨てる小さなゴミ袋（毎回）
- ・ 1 回毎に出たゴミ袋をまとめて捨てる大きなゴミ袋（ゴミ箱）

- v) 排水を捨てるトイレに、準備するもの

- ・ 排水を消毒するための漂白剤（例えば、ハイター・キッチンハイターなど）
- ・ 排水を捨てた後の空バッグを廃棄するためのゴミ袋

### 2) バッグ交換

- i) 施設からの特別な指示がない場合、バッグ交換は通常の手順で行う。

- ii) COVID-19 感染 PD 患者さんの加療している部屋に入る前に、防護服等を着衣（付録 3）する。

参考：防護服等の着衣順番（付録 3）

防護服 ⇒ マスク [シールドマスクを含む] ⇒ キャップ ⇒ フェイスシールド [保護メガネを含む] ⇒ 足袋 [靴カバー] ⇒ 手袋（手袋で防護服 [ガウン] の袖をしっかり覆う。）の順で着衣

- iii) バッグ交換時は、換気等の COVID-19 対策を一時中止し、通常のバッグ交換環境下で行う。

### 3) バッグ交換後の処理

- i) バッグ交換で出たゴミを小さなゴミ袋にまとめて入れて口をしぼり、大きなゴミ袋に廃棄する。
- ii) 排液の廃棄は、その処理での汚染回数を減らすため、1日1回として最後のバッグ交換後に1日分の排液をまとめて廃棄することが望ましい。
- iii) 排液を水洗トイレに捨てる前に、漂白剤（例えば、ハイター・キッチンハイターなど）をキャップ1杯、溜まり水に入れてから排液1バッグを捨てる。続けて、排液を捨てる場合は、水洗せずに、漂白剤（例えば、ハイター・キッチンハイターなど）キャップ1杯、溜まり水に入れてから、排液1バッグを捨てる処理を繰り返す。洋式トイレの場合、水の飛び散りを防ぐため、フタを閉めてから水洗することが望ましい。
- iv) 排液の処理及び処理後の排液バッグをゴミ袋に入れて、ゴミ袋の入り口をしっかりと縛り、縛った部分の消毒を行ってから、大きなゴミ袋に捨てる。
- v) すべての交換手技、排液の廃棄やバッグの廃棄等のすべての処理が終了するまで防護服等を脱がない。防護服等を脱ぐ場合は、指定した防護服等脱衣場所で脱ぎ、脱いだ防護服等は準備しておいたゴミ袋に捨てる。ゴミ袋の出し入れ口をしっかりと結び、結んだ部分の消毒をする。その後、しっかりと手の消毒をする（付録1）。

### 4) 物品の廃棄方法

- i) バッグ交換時に出た廃棄物（交換セットや排液バッグ等）は、大きなゴミ袋に2～3日分をまとめて、家庭ごみとして廃棄する。
- ii) ゴミを集配場所へ持って行く場合は、2～3日分をまとめた大きなゴミ袋を加療中の部屋の前に出す。そのゴミ袋をさらにゴミ袋に入れて、ゴミ袋の出し入れ口を結ぶ。結んだ持ち手部分（できれば全体）を消毒してから持ち出す。
- iii) ゴミを集配場所へ出して、家に入る前には、必ず手の消毒または良く洗浄する（付録1）。

## 2. 家族または介助者等が COVID-19 に感染した場合のバッグ交換方法

### ① PD 患者さんご自身が行う場合

#### 1) 準備

- i) 加療中の部屋またはバッグ交換専用の部屋に、準備するもの
  - ・ PD バッグ交換に必要な物品
  - ・ 使用した交換セット等の廃棄物を捨てる小さなゴミ袋（毎回）
  - ・ 1回毎に出たゴミ袋をまとめて捨てる大きなゴミ袋（ゴミ箱）
- ii) 排液を捨てるトイレに、排液を捨てた後の空バッグを廃棄するためのゴミ袋を準備する。

#### 2) バッグ交換

- i) 施設からの特別な指示がない場合、バッグ交換は通常の手順で行う。
- ii) バッグ交換時は、換気等の COVID-19 対策を一時中止し、通常のバッグ交換環境下で行う。

#### 3) バッグ交換後の処理

- i) バッグ交換で出たゴミを小さなゴミ袋にまとめて入れて口をしぼり、大きなゴミ袋に廃棄する。
- ii) 排液の廃棄は、その作業でのウイルス暴露機会を減らすため、1日1回として最後のバッグ交

換後に 1 日分の排液をまとめて廃棄することが望ましい。

- iii) 排液を水洗トイレに捨てる。複数バッグある場合は続けて排液を捨てる。洋式トイレの場合、水の飛び散りを防ぐため、フタを閉めてから水洗することが望ましい。
- iv) 排液の処理及び処理後の排液バッグをゴミ袋に入れて、ゴミ袋の入り口をしっかりと縛り、縛った部分の消毒を行ってから、大きなゴミ袋に捨てる。その後、しっかりと手の消毒をする（付録 1）。

#### 4) 物品の廃棄方法

- i) バッグ交換時に出た廃棄物（交換セットや排液バッグ等）は、大きなゴミ袋に 2～3 日分をまとめて、家庭ごみとして廃棄する。
- ii) ゴミを集配場所へ持って行く場合、2～3 日分をまとめた大きなゴミ袋の出し入れ口を結び、結んだ持ち手部分（できれば全体）を消毒してから持ち出す。
- iii) ゴミを集配場所へ出して、家に入る前には、必ず手の消毒または良く洗浄する（付録 1）。

### ② COVID-19 に感染していない家族または介助者等が PD バッグ交換を行う場合

#### 1) 準備

- i) 加療中の部屋またはバッグ交換専用の部屋に、準備するもの
  - ・ PD バッグ交換に必要な物品
  - ・ 使用した交換セット等の廃棄物を捨てる小さなゴミ袋（毎回）
  - ・ 1 回毎に出たゴミ袋をまとめて捨てる大きなゴミ袋（ゴミ箱）
- ii) 排液を捨てるトイレに、排液を捨てた後の空バッグを廃棄するためのゴミ袋を準備する。

#### 2) バッグ交換

- i) 施設からの特別な指示がない場合、バッグ交換は通常の手順で行う。
- ii) バッグ交換時は、換気等の COVID-19 対策を一時中止し、通常のバッグ交換環境下で行う。

#### 3) バッグ交換後の処理

- i) バッグ交換で出たゴミを小さなゴミ袋にまとめて入れて、出し入れ口を結び、大きなゴミ袋に廃棄する。
- ii) 排液の廃棄は、その作業でのウイルス暴露機会を減らすため、1 日 1 回として最後のバッグ交換後に 1 日分の排液をまとめて廃棄することが望ましい。
- iii) 排液を水洗トイレに捨てる。複数バッグある場合は続けて排液を捨てる。洋式トイレの場合、水の飛び散りを防ぐため、フタを閉めてから水洗することが望ましい。
- iv) 排液の処理及び処理後の排液バッグをゴミ袋に入れて、ゴミ袋の入り口をしっかりと縛り、縛った部分の消毒を行ってから、大きなゴミ袋に捨てる。その後、しっかりと手の消毒をする（付録 1）。

#### 4) 物品の廃棄方法

- i) バッグ交換時に出た廃棄物（交換セットや排液バッグ等）は、大きなゴミ袋に 2～3 日分をまとめて、家庭ごみとして廃棄する。
- ii) ゴミを集配場所へ持って行く場合、2～3 日分をまとめた大きなゴミ袋の出し入れ口を結び、結んだ持ち手部分（できれば全体）を消毒してから持ち出す。
- iii) ゴミを集配場所へ出して、家に入る前には、必ず手の消毒または良く洗浄する（付録 1）。

## IV. PD 患者さんへの緊急時（営業）対応の方法【企業営業員】

### 1. COVID-19 未感染、感染不明の PD 患者さんへの対応【企業営業員】

#### ① 事前確認

- 1) COVID-19 に感染しているかわからない場合の対応は上長またはエリア責任者と相談する。
- 2) 原則、PD 患者さん宅への緊急時の対応については、事前に医療機関と打合せを行い、医療機関が指定する感染予防対応マニュアルがある場合は、それに従う。
- 3) 医療機関の指定する感染予防対応マニュアルがある場合、施設指定するマニュアルに従い、施設指定のマニュアルがない場合、本マニュアルに従うものとする。

#### ② PD 患者さん宅訪問前確認

- 1) 訪問日時
- 2) 訪問時換気をお願い
- 3) PD 患者さん及び家族または介助者等同居者とは別室での作業の可否（依頼）
- 4) 訪問時、作業前に PD 患者さん及び家族または介助者等同居者の体温お願いと確認（玄関先）  
⇒ この時、37.5℃以上が確認された場合は、感染者対応マニュアルに従う。

また、場合により、訪問時の作業服装（防護服着用）を伝達

- 5) PD 患者さん及び家族または介助者等同居者の体温が 37.5℃未満であることが確認できた場合、マスク、ゴーグル及び手袋を着用して対応する。ただし、営業員が PD 患者さんの感染疑い等の不安を払拭できない場合は、営業員自らが防護服等の着用での作業をお願いする。
- 6) 居室内で作業する場合、居室内及び機器や用具に接触する前に、消毒用エタノール等の消毒剤（推奨：消毒用アルコール、0.1～0.2%次亜塩素酸 Na）で消毒後、作業を行う。  
（消毒剤での消毒は、消毒後、濡れている場合はペーパータオル等で清拭する。）

#### 7) PD 患者さん宅訪問前準備物

- i) 防護服等〔防護服等とは、a)マスク、b)防護服、c)手袋、d)ゴーグル・フェイスシールド、e)ヘアキャップ、f)足袋〕（付録 3）
- ii) 大きなゴミ袋（40L 以上）10 枚以上（患者さん宅からの回収物、防護服等を入れる）
- iii) ペーパータオル
- iv) 消毒用エタノール等の消毒剤（推奨：消毒用アルコール、0.1～0.2%次亜塩素酸 Na）

#### ③ 患者さん宅での対応

- 1) 患者さん宅前でマスク、ゴーグル及び手袋を着用（付録 4）する。
- 2) PD 患者さん、家族または介助者等同居者の体温確認
- 3) 患者さん宅内にて、訪問目的（機器操作、エラー対応、物品搬入や装置等の物品回収）に対応する。
- 4) 機器・物品等の操作・回収する場合、操作・回収する前に機器・物品の表面を消毒する。その後、操作・回収等の作業を行う。消毒した機器・物品を回収する場合、回収用に準備した 2 重にした大きなゴミ袋に入れて回収する。

- 5) 患者さん宅にて、対応終了後、患者さん宅外に出る。患者さん宅外に出て、十分な距離を取るまでは、マスク、ゴーグル及び手袋（場合により、防護服等）は外さないこと。

④ 患者さん対応後、患者さん宅退出後、帰社後

- 1) 患者さん宅より回収した機器・物品等がある場合、社有車等に積み込む。積み込む場所に大きなゴミ袋を広げて敷いて、その上に積み込むことが望ましい。積み込んだ機器・物品等を念のため、全体を消毒する。
- 2) 直ぐに、手指消毒（付録 1）をしっかりと行う。
- 3) 営業所等に帰社した後、営業所に PD 患者さん宅より回収した機器・物品の置く場所を確保し、誰にでも分かるように、明記すること。また、回収機器・物品を運び出した後、社有車等車内を消毒する。
- 4) 再度、手指消毒（付録 1）をしっかりと行う。
- 5) 回収した機器・物品を他部署に送付する場合は、その旨を事前連絡し、送付機器・物品に明記する。指定の書式用紙がある場合は、指定の方法に従う。

## 2. COVID-19 感染、感染履歴のある PD 患者さんへの対応（感染履歴のある PD 患者さんとは、治癒後 14 日以内の患者さん）【企業営業員】

① 事前確認

- 1) 原則、COVID-19 感染 PD 患者さんへの対応はしない。医療機関での対応をお願いする。
- 2) COVID-19 感染 PD 患者さんの対応については、医療機関及び JMS 緊急対策本部と協議の上、対応の有無を決定する。
- 3) 対応が必要になった場合、医療機関の指定する感染予防対応マニュアルがある場合、施設指定するマニュアルに従い、施設指定のマニュアルがない場合、本マニュアルに従うものとする。

② PD 患者さん訪問前確認

- 1) 訪問日時
- 2) 訪問時の作業服装（防護服等の着用（付録 3））を伝達
- 3) 訪問時換気をお願い
- 4) COVID-19 感染 PD 患者さん及び家族または介助者等同居者とは別室での作業の可否（依頼）
- 5) PD 患者さん宅訪問前準備物
  - i) 防護服等〔防護服等とは、a)マスク、b)防護服、c)手袋、d)ゴーグル・フェイスシールド、e)ヘアキャップ、f)足袋〕（付録 4、5、6）
  - ii) 大きなゴミ袋（40L 以上）10 枚以上（患者さん宅からの回収物、防護服等を入れる）
  - iii) ペーパータオル
  - iv) 消毒用エタノール等の消毒剤（推奨：消毒用アルコール、0.1～0.2%次亜塩素酸 Na）

### ③ 患者さん宅での対応

- 1) 防護服等を脱衣する場所（できるだけ社有車等付近で脱衣する）に、感染性廃棄物を捨てるためのゴミ袋を準備する。機器・用具を回収する場合は、社有車等車内に前もって回収物を置く場所にゴミ袋等を敷きつめる。
- 2) 患者さん宅前（または社有車等駐車場）で防護服等（足袋〔靴カバー〕を除く）を着衣する。機器・用具を回収する場合は、回収物を入れる大きいゴミ袋（2重）を必要数量準備する。
- 3) 患者さん宅内に入る場合、防護服等を着衣し、玄関から居室内に入る時、靴を履いたまま、足袋（靴カバー）を履いて居室内に入り、訪問目的の作業を行う。
- 3) 患者さん宅内にて、訪問目的（機器操作、エラー対応、物品搬入や装置等の物品回収）に対応する。
- 4) 機器・物品等の操作・回収する場合、操作・回収する前に機器・物品の表面を消毒する。その後、操作・回収等の作業を行う。機器・物品を回収する場合、回収物をゴミ袋に入れ、内側のゴミ袋の出し入れ口をしっかりと結び、消毒する。外側のゴミ袋は出し入れ口を軽く結び、消毒する。
- 5) 機器・物品等の回収物がある場合、回収物を入れたゴミ袋を持って、患者さん宅を退去する。この時、防護服等を全て着衣したまま（足袋〔靴カバー〕も着衣したまま）、患者さん宅外に出る。

### ④ 患者さん対応後、患者さん宅退出後、帰社後

- 1) 回収物品がある場合は、2重のゴミ袋に入れたまま、患者さん宅外に運びだし、社有車等に前もって準備した回収物を置く場所に敷きつめたゴミ袋の上に運び込む。
- 2) 回収物を積み込む前に、外袋の外側が内になるようにひっくり返しながら外し、感染性廃棄物用のゴミ袋に廃棄する。内袋の状態に積み込む。回収物の外側全体を消毒する。（この時、防護服等は着衣したまま行う）
- 3) 回収作業等、訪問目的の作業を全て完了させた後、防護服等を脱衣する場所で、防護服等を脱衣順番に注意しながら脱衣する。事前に用意した防護服等を捨てるための感染性廃棄物用のゴミ袋に、脱衣した防護服等を廃棄する。ゴミ袋の出し入れ口をしっかりと結び、感染性廃棄物用ゴミ袋の外側を消毒する。
- 4) 直ぐに、手指消毒（付録1）をしっかりと行う。
- 5) 営業所等に帰社した後、営業所に PD 患者さん宅より回収した機器・物品は置く場所を確保し、置いた後も十分に消毒する。回収機器・物品には、誰にでも分かるように、その旨を明記すること。また、回収機器・物品を運び出した後、社有車等車内を消毒する。
- 6) 再度、手指消毒（付録1）をしっかりと行う。
- 7) 社内・外に回収した機器・物品を運び出す場合、その作業前後で、回収機器・物品の消毒及び手指等の消毒（付録1）を行う。
- 8) 他部署に送付する場合は、その旨を事前連絡し、送付機器・物品に明記する。指定の書式用紙がある場合は、指定の方法に従う。

### **3. 同居の家族または介助者等が COVID-19 に感染し、自宅療養している PD 患者さんへの対応 【企業営業員】**

- ・ 同居の家族または介助者等が COVID-19 に感染し、自宅療養している場合は、居宅内が COVID-19 に汚染されている可能性が高いため、前述 IV-2. COVID-19 感染、感染履歴のある PD 患者さんへの対応と同じ対応を実施する。

## 付録. COVID-19 の感染防御に役立つ知識（情報提供）

### 1. 手洗い・うがいの方法

#### ① 手洗いの方法（石鹸等を用いた洗浄方法）

- 1) 流水で1度、手を洗い流し、石鹸を付け、しっかり泡立出せる。
- 2) 手の外側は、軽く片手を丸めて、その上を逆の手で覆いつかみ、ねじるように洗う（5秒間）。
- 3) 反対側も同じように、逆の手で覆いつかみ、ねじるように洗う（5秒間）。
- 4) 手のひらはしっかり広げて、両側の手ひらを合わせて、しっかり洗う（5秒間）。
- 5) 指先・爪先は、逆の手のひらで垂直に立てて、良くこすり洗いする（5秒間）。
- 6) 反対側の指先・爪先も同じように、手のひらで垂直に立てて、良くこすり洗いする（5秒間）。
- 7) 指は1本ずつ、逆の手で覆いつかみ、ねじり洗いをする（1本3秒間）。
- 8) 石鹸の付いた手で蛇口を洗う。
- 9) 流水を蛇口に掛けて、蛇口部分の石鹸を洗い流す。
- 10) そのまま、流水で手を洗い、手の石鹸をきれいに洗い流す（図1）。
- 11) 清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取り、乾かす。

**参考：石鹸の無い場合でも、水道水で手を洗うことは、感染症予防に有用であることが報告されています。流水中で流しながら2）～7）の各部位の洗浄を行ってください。**



図1. 流水で手洗い

#### ② 消毒剤による手洗いの方法（以下、手指消毒）

- 1) 清潔操作が求められる場合で、消毒剤による洗浄で許容される行為をする場合のみ適用する。
- 2) 消毒剤は対象となる感染源の種類により異なるため、使用する消毒剤には注意する。
- 3) COVID-19 の場合、エンベロープを有するため、アルコールに感受性を認める。手指消毒には消毒用エタノール（70～83%エタノール水溶液）が非常に有効と考えられる。
- 4) 手のひらに消毒用エタノールを両手が十分に消毒できる量を噴霧または注ぐ。
- 5) 両側の手を合わせて、消毒用エタノールが両手全体に塗りこまれるように揉みこむ。
- 6) 消毒用エタノールが乾くまで、両手全体を擦り合わせて、乾燥させる。

#### ③ うがいの方法

- 1) 口に水を含み、口を閉じて、強くグチュグチュウがいをする（図2）。
- 2) グチュグチュウがいを3回行う（1回5秒間以上）。
- 3) 今度は口に水を含み、上を向いて、口を軽く開けてガラガラうがいをする（図3）。
- 4) 「アー」・「オー」を発声しながら、1回目は、まっすぐ上を向いて、2回目は右に頭を傾けて、3回目は左に頭を傾けて、ガラガラうがいを各1回ずつ行う。（1回5秒以上）。



図2. グチュグチュウがい



図3. ガラガラうがい

## 2. マスクの着け方、外し方

### ① マスクの着け方（ディスポーザブルマスク、プリーツ有；図4．マスク装着方法）

- 1) プリーツを下向きにして顔に当てる。
- 2) 鼻部にワイヤーがある場合、鼻ワイヤーを押える。
- 3) プリーツを顎まで伸ばす。



図4．マスク装着方法

### ② マスクの外し方（図5．マスクの外し方）

- 1) 清潔な手で、表面に触れないように、ゴムバンドをつかむ。
- 2) ゴムバンドを耳から外し、つかんでいるゴムバンドを片手に持ち替え、ゴミ箱に捨てる。
- 3) マスクを外した後、必ず前述（付録1）した方法で、手指洗浄する。

参考：清潔な手とは、I-1-①で手洗いをした手の事。

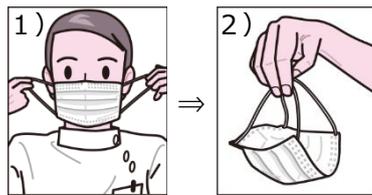


図5．マスクの外し方

注意：やってはいけないマスクの着用



## 3. 防護服（PPE）等の着用、脱衣方法

### ① 防護服等の着用方法

- 1) 感染のおそれのない場所に、防護服等（i. 防護服 [ガウン]、ii. マスク [シールドマスクを含む]、iii. ヘアキャップ、iv. 足袋 [靴カバー]、v. フェイスシールド [保護メガネを含む]）を準備する。

- 2) 防護服等の着用前に、付録1の方法で手指洗浄し、清潔にする。

- 3) 防護服等の着用の順番は、

防護服 ⇒ マスク [シールドマスクを含む] ⇒ キャップ ⇒ フェイスシールド [保護メガネを含む] ⇒ 足袋 [靴カバー] ⇒ 手袋（手袋で防護服 [ガウン] の袖をしっかり覆う。）

【ただし、シールドマスク使用時、フェイスシールド（保護メガネ）は使用しない。】

また、居宅内外の行き来がある場合は、居室内に入る時、足袋 [靴カバー] を着衣するため、手袋（手袋で防護服 [ガウン] の袖をしっかり覆う。） ⇒ 足袋 [靴カバー] の順となる。

### ② 防護服等の脱衣方法

- 1) 防護服等を脱衣する場所を確保する。ウイルス等の付着しているおそれのある防護服等を廃棄する感染性医療用廃棄物（以下、専用容器）を捨てる容器を準備する。

- 2) 感染区域と非感染区域の所で、感染区域で足袋 [靴カバー] を内側が表になるように端の方

を持ち、足袋〔靴カバー〕を外し、外した足は非感染区域に置く。両足の足袋を外し、非感染区域の防護服等を脱衣する場所に移動し、専用容器に足袋〔靴カバー〕を廃棄する。

**注意：足袋〔靴カバー〕は見逃されがちであるが、靴に付着したウイルスを付けたまま、感染区域を出ると、ウイルスが施設内にばらまかれるおそれがある。**

### 3) 防護服等の脱衣の順番は

フェイスシールド〔保護メガネを含む〕⇒キャップ⇒防護服⇒手袋の順で脱衣し、専用容器にそれぞれ廃棄する。(図6. 防護服(手袋)の脱衣方法)

ここで、一度、消毒用エタノールによる手指消毒(付録1)を行う。

顔に触れないように、マスク〔シールドマスクを含む〕のゴムバンドを耳から外し、つかんでいるゴムバンドを片手に持ち替え、廃棄する。

最後にもう一度、消毒用エタノールによる手指消毒(付録1)を行う

また、居宅内外の行き来がある場合は、居室外に出る時、足袋〔靴カバー〕を脱衣するため、足袋〔靴カバー〕が最初となり、居室外で、前述の脱衣方法に従い脱衣する。

### 4) 防護服等を廃棄した専用容器のフタを閉める(飛散防止)。

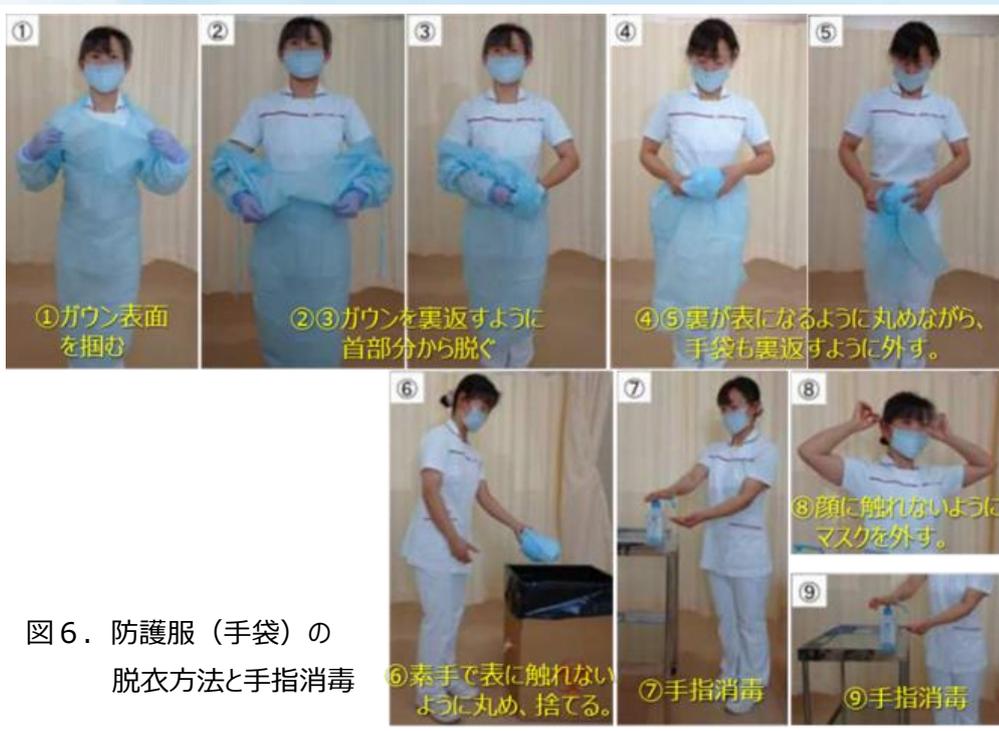
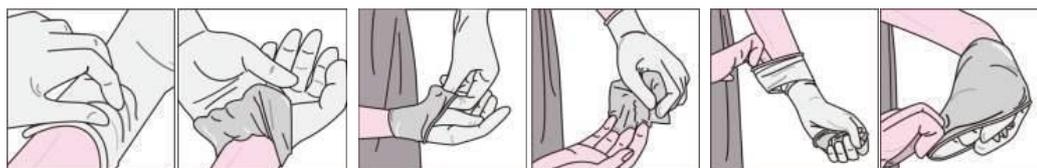


図6. 防護服(手袋)の脱衣方法と手指消毒

参考：手袋の外し方(参照：看護 roo! HP, <https://www.kango-roo.com/sn/k/view/5602>)



- ①左手で手袋の外側をつまむ。外側をつまんだまま、裏返すように外していく。
- ②内側が外になるように引っ張る。外しながら左手でくるくると丸め、脱いだ手袋を左手で持つ。
- ③手袋の内側に指を入れ、残りの手袋も同様に外す。手袋の表面は素手で触らない。先に脱いだ手袋を包み込むようにして、内側が外になるように外す。

#### 4. 防護服等の代用品

一般家庭で購入可能な商品（安価：全て100円均一ショップで購入可能）（表1）

	→		防護服は、100円均一のレインコートとレインズボンで代用。複数セット用意し、用事交換・洗浄（消毒）後、再利用。	→ 手に入らない場合	90Lゴミ袋で胴体、腕部分はラップ包帯で覆い、用事廃棄
	→		ビニール手袋は、100円均一で入手可能。再利用はしないで、使用後は廃棄する。		
	→		ゴーグルは100円均一の花粉保護メガネで代用。100円均一のフェイスシールドも発売開始。	→ 手に入らない場合	自作フェイスシールド（参照）
	→		ディスポーザブルキャップは100円均一のシャワーキャップで代用。再利用はしないで、使用後は廃棄する。		
	→		脚袋は100円均一の靴カバーで代用。複数個購入し、用事交換・洗浄後再利用。	→ 手に入らない場合	シャワーキャップを代用

表1 一般家庭での防護服等の代用品

#### 5. ポリ袋防護服の作製方法（簡易ポリ袋防護服）

参考：家庭内感染を防ごう！ポリ袋で作る使い捨て防護服（医療ガウンタイプ）【提供：アイグレイ合同会社】

<https://aegle-llc.com/wp-content/themes/marshmallowtouch/src/pdf/protective-suit.pdf>

「医師監修！看護師が教えるポリ袋の使い捨て防護服の簡単な作り方！」【提供：アイグレイ合同会社】

[https://www.youtube.com/watch?v=53azbQFOv\\_M](https://www.youtube.com/watch?v=53azbQFOv_M)

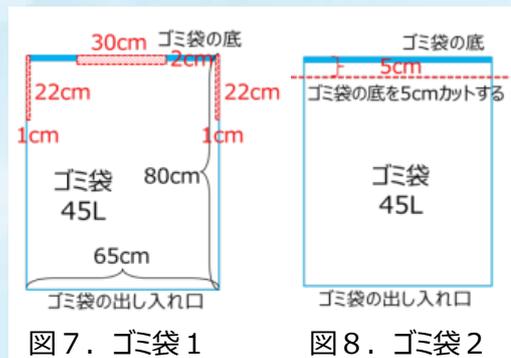
##### ① 準備するもの

- ・ ゴミ袋（45L：横65cm×縦80cm）；2枚
- ・ ゴミ袋（30L：横50cm×縦70cm）；1枚
- ・ ポリ袋（横23cm×縦34cm）；2枚
- ・ セロテープ、・ ガムテープ（または約5cm幅のテープ）、・ ハサミ（またはカッター）



##### ② 胴体部分の作製

- 1) ゴミ袋45Lの底に当たる部分に首（幅30cm×高さ2cm）と腕（幅1cm×高さ22cm）が出る場所をカットする（図7. ゴミ袋1）。
- 2) もう一枚のゴミ袋45Lの底から5cmのところを底が無くなるようにカットする（図8. ゴミ袋2）。



- 3) ゴミ袋 1 の出し入れ口に、ゴミ袋 2 のカット部分を 5~10cm 入れる。
- 4) ゴミ袋 1 とゴミ袋 2 をガムテープで隙間の無いように塞ぎ、継ぎ合わせる。  
表・裏両側しっかりとガムテープで貼り合わせる (図 9. 胴体部分)。

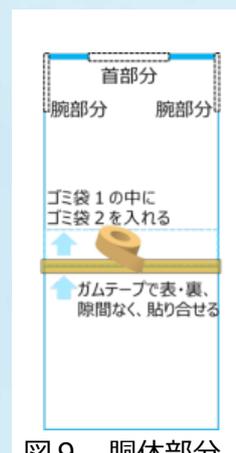


図 9. 胴体部分

### ③ 腕 (袖) ・手袋部分の作製

- 1) ゴミ袋 30L を縦半分にカットする。
- 2) ゴミ袋の底の部分を図 10. のように (幅 19cm×高さ 2cm) カットする。
- 3) 縦にカットした部分にガムテープを貼って袋状にする。この時、ゴミ袋の出し入れ口側の端を 3cm 程度、縫代を残し、ガムテープを貼るようになる。

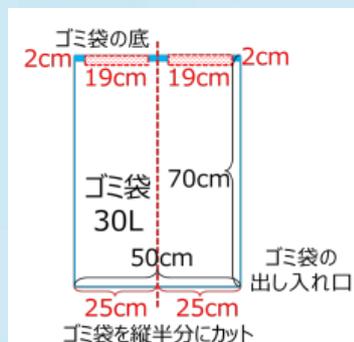


図 10. 袖部分の作製

- 4) 2) でカットした部分にポリ袋を、図 11. のように差し込み、ガムテープで隙間が無いようにしっかり表・裏貼り合わせる。

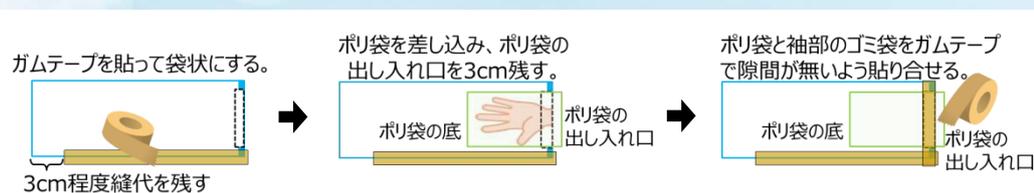


図 11. 袖と手袋部分の貼り合せ

### ④ 胴体部分と腕部分をつなげる (図 12. 胴体と袖の貼り合せ)

- 1) ②で作製した胴体部分の袖部カット部分に③で作製した袖部分の縫代を重ねてガムテープを貼る。この時、ガムテープをぐるっと一周させるが、しわがより易いので、表・裏側それぞれガムテープを貼る方法でも良い、この場合、つなぎ目はガムテープを少し重ねる。
- 2) 両袖を取り付けた後、脇下部分のつなぎ目に隙間ができやすいため、ガムテープを斜めに貼って隙間を無くす。

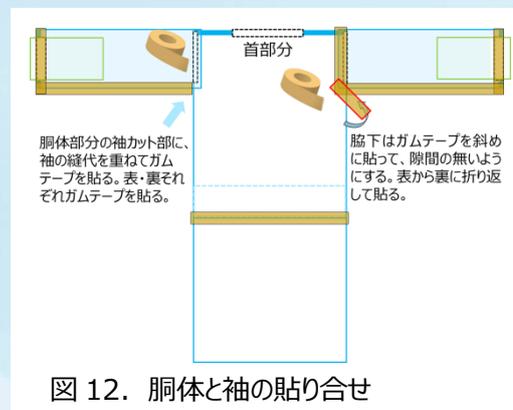


図 12. 胴体と袖の貼り合せ

### ⑤ ポリ袋防護服の脱衣のための後ろ身頃の切り込み (ポリ袋防護服の完成)

- 1) ポリ袋防護服の脱衣時、感染しないように、後ろ身頃に大きく切り込みを入れる。胴体部分ゴム袋継ぎ目のガムテープの下までカットする (図 13. 脱衣のための背面の切り込み)。
- 2) 切り込み部分を、1cm 程度重ね、首側上部、胴部つなぎ目部分のやや上、その 2 か所の中央部分の 3 か所を 3cm 程度のセロテープで軽く貼り

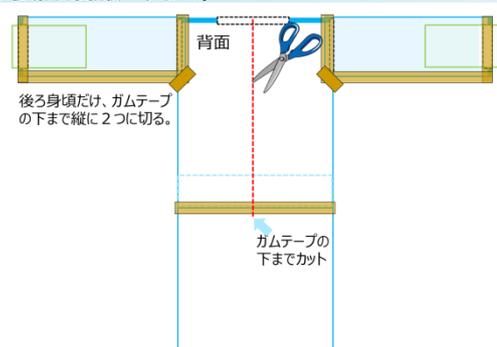


図 13. 脱衣のための背面の切り込み

合せる（図 14. 背面のセロテープの位置）。

- 3) ポリ袋防護服の完成となるが、作製したポリ袋防護服は、作製場所に対象となるウイルス等がない事が確実な場合は、作製直後にも使用可能。

ただし、対象となるウイルス等の存在が否定できない場合は、きれいに畳んで、ビニール袋に密閉し、72 時間（3 日間）以降に使用する（図 15. ポリ袋防護服完成図）。

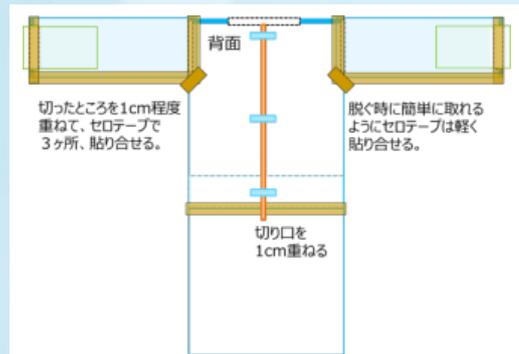


図 14. 背面のセロテープの位置



図 15. ポリ袋防護服完成図（モデル：身長 159cm）

## 6. フェイスシールドの作製方法（簡易フェイスシールド）

### ① 準備するもの

- ・ メガネ（ご自分のメガネ、持っていない人はダテメガネ；100 円均一ショップで購入可能）
- ・ OHP フィルム A4 サイズ 1 枚（A4 サイズの透明フィルムであれば、OHP フィルム以外でも可能）
- ・ ものさし、・ カッター

### ② 簡易フェイスシールドの作製

- 1) OHP ファイル A4 サイズを横長で使用する。
- 2) OHP フィルムの上から 5cm、左右それぞれ 5cm の所に上から下に 1.5cm の切れ目を入れる（図 16. 簡易フェイスシールドの作製手順 1）。
- 3) 左右の切れ目にメガネを逆さまにして柄の部分を入れる（図 17. 簡易フェイスシールドの作製手順 2）。
- 4) メガネを回転させ、OHP フィルムがメガネの前でシールド様

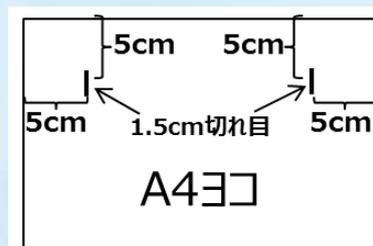


図 16. 簡易フェイスシールドの作製手順 1

- 5) メガネを掛ければ、フェイスシールドとして使用可能となる。
- 6) フィルムのみディスポーザブル（1 回使用后廃棄）として使用する。
- 7) メガネは使用后、消毒液等で洗浄する。

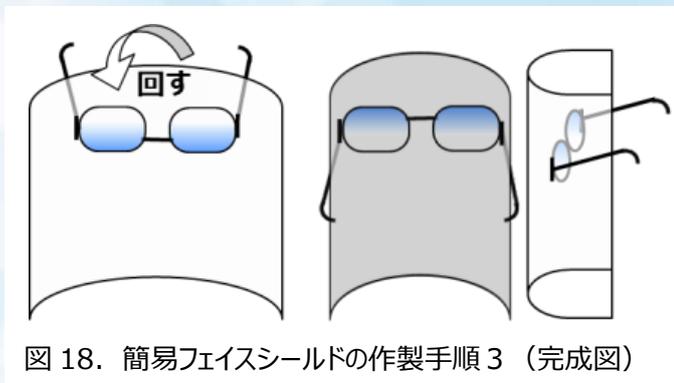


図 18. 簡易フェイスシールドの作製手順 3（完成図）

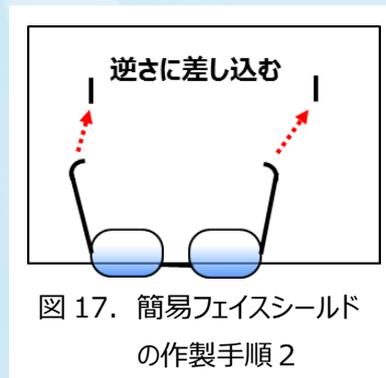


図 17. 簡易フェイスシールドの作製手順 2

## 7. 次亜塩素酸系消毒液の作製方法

### ① 準備するもの

- ・ 次亜塩素酸系漂白剤（ブリーチ）  
（商品名：ハイター、キッチンハイター、ミルトン等）
- ・ 消毒液を入れる容器（きれいに洗浄したペットボトル 500mL 以上など）

### ② ハイター、キッチンハイター、ミルトンでの次亜塩素酸系消毒液の調整方法（表 2）

商品	次亜塩素酸 Na 濃度	0.1%次亜塩素酸ナトリウム作製方法
	5 W/V%	500mLペットボトルにペットボトルキャップ2杯分（5×2mL）のハイターを入れる。 ペットボトルに500mLの水道水を入れる。
	5 W/V%	500mLペットボトルにペットボトルキャップ2杯分（5×2mL）のキッチンハイターを入れる。 ペットボトルに500mLの水道水を入れる。
	1.1 W/V%	500mLペットボトルにミルトンキャップ2杯分（25×2mL）のミルトンを入れる。 ペットボトルに500mLの水道水を入れる。

表 2 漂白剤の希釈方法

次ページ、参考：花王株式会社 HP お問い合わせ（Q&A）を参照

### ③ 次亜塩素酸系消毒液での消毒方法

COVID-19 の消毒は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムに 1 分以上おき、消毒液を拭き取り、その後、水拭きを行ってください。金属類は腐食する可能性があります

参考：花王株式会社 HP お問い合わせ (Q&A)

## 花王の塩素系漂白剤で、次亜塩素酸ナトリウム 0.05%、0.1%の液は作れるの？

次亜塩素酸ナトリウムを含む花王の塩素系漂白剤は、衣料用の「ハイター」と台所用の「キッチンハイター」です。「ハイター」と「キッチンハイター」は、次亜塩素酸ナトリウム濃度が6%になるように生産されています。通常、塩素系漂白剤の主成分である次亜塩素酸ナトリウムは、常温で保管されていてもゆっくりと分解し、濃度が低下していきます。特に、直射日光のあたる場所や高温での保管では分解が進むことが、一般的に知られています。

したがって、お手元の「ハイター」「キッチンハイター」に含まれている次亜塩素酸ナトリウムも、様々な条件下で分解している可能性があり、濃度を特定することができません。必要な次亜塩素酸ナトリウム濃度の希釈液を作るためには、下表に示す目安で希釈することをおすすめします。塩素系漂白剤の使用には注意が必要ですので、ご使用前には必ず、各製品に表示している内容をご確認ください。

購入時期が不明な場合や、直射日光にあたる場所や高温で保管して濃度の低下が不安な場合は、購入から3年以内の濃度で調整してください。なお、ご購入から3年以上経過した古い製品では、次亜塩素酸ナトリウムの濃度が著しく低下している場合がありますので、ご使用はおすすめできません。

「ハイター」と「キッチンハイター」の希釈の目安 (直射日光にあたる場所や高温での保管をしていない場合)			
	0.02%(200ppm) 以上*	0.05%(500ppm) 以上*	0.1%(1000ppm) 以上*
生産時の濃度6%の場合	水3リットルに キャップ約0.4杯 (10ml)	水3リットルに キャップ約1杯 (25ml)	水3リットルに キャップ約2杯 (50ml)
購入から3ヶ月以内	水3リットルに キャップ約1/2杯 (12ml)	水1リットルに キャップ約0.4杯 (10ml)	水1リットルに キャップ約0.8杯 (20ml)
購入から1年以内	水3リットルに キャップ約0.7杯 (18ml)	水1リットルに キャップ約0.6杯 (15ml)	水1リットルに キャップ約1.2杯 (30ml)
購入から3年以内	水3リットルに キャップ約1.2杯 (30ml)	水1リットルに キャップ約1杯 (25ml)	水1リットルに キャップ約2杯 (50ml)

(キャップ1杯は約25ml) \*次亜塩素酸ナトリウム濃度

### 次亜塩素酸ナトリウムを含む商品の使用上の注意

- 「ハイター」「キッチンハイター」が目に入ると、薄めた液でも失明のおそれがあります。十分な注意が必要な製品ですので、必ず使用方法や使用上の注意をよくお読みください。
- 「ハイター」「キッチンハイター」は非常にアルカリ性の強い製品であり、薄めた液でも皮膚を傷めるおそれがあります。手指などへのご使用はおやめください。皮膚についた時はすぐに水で十分洗い流してください。
- 薄めた液をスプレー容器に入れて噴霧することはおやめください。スプレーした時に霧状の液を吸い込むことがあり、せき込んだり、呼吸器に異常をきたしたりするおそれがあります。
- 薄めた液を他の容器などに入れて保管することはおやめください。薄めた液は、次亜塩素酸ナトリウムが分解されやすく効果が持続しません。使用の都度、必要な量をつくるようにしてください。
- ご使用の際には十分な換気を行い、ご使用後は十分に水ですすいでください。
- いずれの商品も漂白効果がありますので、衣類などの色落ちにご注意ください。
- 金属製品、繊維製品、木工製品などに使用すると、腐食や変色する場合があります。
- 各製品の表示は下の製品画像をクリックするとご覧いただけます。

# PD患者さんのための COVID-19の予防・感染対策

COVID-19に罹患しないため・罹患したときに知っておきたいこと！

ダイジェスト版（プレゼンテーション）

## COVID-19感染予防対策

新しい生活様式、  
COVID-19に罹患しないために守ること！

# 「新しい生活様式」の実践例

(厚生労働省)

## 一人ひとりの 基本的感染対策

### 感染防止の3つの基本

- ① 身体的距離の確保、 ② マスクの着用、 ③ 手洗い

#### ☑ (チェック) してみましょう。

※高齢者や持病のあるような重症リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

- 人との間隔は、できるだけ2m (最低1m) 空ける。
- 遊ぶに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をする時は、症状がなくてもマスクを着用。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。(手指消毒薬の使用も可)。



# 「新しい生活様式」の実践例

(厚生労働省)

## 一人ひとりの 基本的感染対策

### 移動に関する感染対策

#### ☑ (チェック) してみましょう。

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。



# 「新しい生活様式」の実践例 (厚生労働省)

## 日常生活を営む上での基本的な生活様式



### ☑ (チェック) してみましょう。

- まめに手洗い・手指消毒。
- 咳エチケットの徹底。
- こまめに換気。
- 身体的距離の確保。
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）。
- 毎朝の体重測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養。

# 「新しい生活様式」の実践例 (厚生労働省)

## 日常生活の各場面別の生活様式

### 買い物

### ☑ (チェック) してみましょう。

- 通販も利用。
- 1人または少人数ですいた時間に。
- 電子決済の利用。
- 計画をたてて素早く済ませます。
- サンプルなど展示品への接触は控えめに。
- レジに並ぶときは、前後にスペース。



### 娯楽・スポーツ等

### ☑ (チェック) してみましょう。

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ。
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用。
- ジョギングは少人数で。
- すれ違うときは距離をとるマナー。
- 予約制を利用してゆったりと。
- 狭い部屋での長居は無用。
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン。



# 「新しい生活様式」の実践例

(厚生労働省)

## 日常生活の各場面別の生活様式

### 公共交通機関の利用

#### ☑ (チェック) してみましょう。

- 会話は控えめに。
- 混んでいる時間帯は避けて。
- 徒歩や自転車利用も併用する。

### 食事

#### ☑ (チェック) してみましょう。

- 持ち帰りや出前、デリバリーも。
- 屋外空間で気持ちよく。
- 大皿は避けて、料理は個々に。
- 対面ではなく横並びで座ろう。
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに。
- お酌、グラスやおちょこの回し飲みは避けて。

### 冠婚葬祭などの親族行事

#### ☑ (チェック) してみましょう。

- 多人数での会食は避けて。
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない。



# 「新しい生活様式」の実践例

(厚生労働省)

## 働き方の新しいスタイル

#### ☑ (チェック) してみましょう。

- テレワークやローテーション勤務。
- 時差通勤でゆったりと。
- オフィスはひろびろと。
- 会議はオンライン。
- 名刺交換はオンライン。
- 対面での打合わせは換気とマスク。



# COVID-19に感染した腹膜透析患者さんの 腹膜透析実施・管理手技指導

患者さんがに適切な腹膜透析をご家庭で行うための情報提供



## COVID-19感染した場合（PD患者さんご自身）

- 原則、PD患者さんがCOVID-19に感染した場合、入院を最優先に促す。直ちに、施設と連絡を取り、対応について指示を頂く。

### ―――自宅療養（施設からの指示）の場合―――

- 加療中は、同居者と別室で過ごす。
- 別室が確保できない場合、同室内の全員がマスクを着用し、少なくとも1メートルの間隔を保つ。
- 室内の換気を十分に行う。
- 同居者がいる場合、同じ部屋の出入りを避ける。
- 居室内を移動する場合は、触ったところを消毒しながら移動する。
- PD液交換を、ご自身で、できる場合はご自身で行う。
- 同居者がPD液交換をする場合、防護服等を着用することが好ましい。

## COVID-19感染した場合の交換方法 (PD患者さんご自身の場合)

- 加療中の部屋または交換専用部屋に交換に必要な物品を準備する。
- 通常の交換を行う。
- 排液はトイレに捨てる。  
参考：洋式水洗トイレ捨てる前に、ハイターをキャップ一杯、溜まり水に入れる。その後、排液を捨てる。水の飛び散りを防ぐため、ふたを閉めてから水洗する。
- 居室内を移動する場合は、自室に戻るときに、触ったところを消毒しながら移動する。
- 1回毎に廃棄物をゴミ袋に入れる。
- 2~3日分のゴミ袋を大きな袋に入れて、家庭ごみとして廃棄する。

## COVID-19感染した場合の交換方法 (同居者、介助者が行う場合)

- 感染防止のため、防護服等を着用
- 加療中の部屋または交換専用部屋に交換に必要な物品を準備する。
- 通常の交換を行う。
- 排液はトイレに捨てる。  
参考：洋式水洗トイレ捨てる前に、ハイターをキャップ一杯、溜まり水に入れる。その後、排液を捨てる。水の飛び散りを防ぐため、ふたを閉めてから水洗する。
- 居室内を移動する場合は、触ったところを消毒しながら移動する。
- 1回毎に廃棄物をゴミ袋に入れる。
- 2~3日分のゴミ袋を大きな袋に入れて、家庭ごみとして廃棄する。

# COVID-19感染したPD患者さんを介助する場合の服装 (防護服の着用方法)

## ○ 防護服等の着用方法

- ① 防護服を着用する場所は、COVID-19感染の恐れのない場所で着用する。
- ② 着用順番は問わない。着用しやすい順番で着用する。  
ただし、できる限り、  
肌や衣服が露出しないように気を付ける。

## ○ 防護服等：個人防護服

- ✓ ①マスク 、 ✓ ②ゴーグル/メガネ
- ✓ ③手袋 、 ✓ ④キャップ
- ✓ ⑤脚袋 、 ✓ ⑥ガウン



## 防護服等を脱ぐときの注意

### ○ 防護服等を脱ぐ・外す順番

注意 ① 脚袋のみ、患者さんの部屋から出るときに外し、②～⑥については、事前に決めた脱衣場所で、脱衣する。

- ① 脚袋（患者さんの部屋から出る時、表裏が逆になるように外し、ゴミ袋に捨てる。）
- ② キャップ（表裏が逆になるように外し、ゴミ袋に捨てる）
- ③ ゴーグル/メガネ（ゴーグルは再利用：消毒するため、別袋に保管）
- ④ ガウン（表裏が逆になるように丸めながら脱ぎ、ゴミ袋に捨てるこの時手袋も一緒に外してもよい）
- ⑤ 手袋（手袋の袖口を掴み表裏が逆になるように外す。外した手袋を手袋をした手に握り、手袋を外した手を手袋の袖口に差し込み表裏が逆になるように外し、ゴミ袋に捨てる）

——手指消毒——

- ⑥ マスク（顔に触れないように外し、ゴミ袋に捨てる）

——手指消毒——

## 防護服等を脱ぐときの注意（図説）



備考：手袋は⑤の後に外してもよい

### 手袋の外し方 （参考：看護roo! HP, <https://www.kango-roo.com/sn/k/view/5602>）



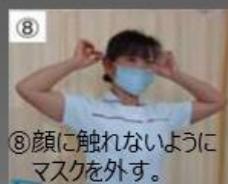
① 左手で手袋の外側をつまむ  
外側をつまんだまま、裏返すように外していく



② 内側が外になるように引っ張る  
外しながら左手でくるくと丸め、  
脱いだ手袋を左手で持つ



③ 手袋の内側に指を入れ、残りの  
手袋も同様に外す。  
手袋の表面は素手で触らない。先に脱いだ  
手袋を包み込むようにして、内側が外に  
なるように外す。



⑧ 顔に触れないように  
マスクを外す。



⑨ 手指消毒

参考：日本透析医学会「新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第4報改定版）  
～まん延期における透析施設での具体的な感染対策～；2020.04.03

## 防護服等の消毒方法

- できる限り、 Disposable（単回使用）製品を使用して、使用後は廃棄する。

――複数回（再利用）使用する場合――

- 複数回使用する物品（例えば、レインコート、レインズボンおよび靴カバー等）は、0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液に1分以上、浸漬させる。その後、水洗いをして、十分に乾燥させる。
- または、消毒用エタノール（75～85%）を全体に噴霧させ、十分に乾燥させる。

## 廃棄物の処理方法

- PDの交換を行った後の透析液バッグ、排液バック及びその他の交換済み物品は、交換毎にゴミ袋に入れる。
- 2～3日分を大きなゴミ袋にまとめて入れる。この時、廃棄する前に、消毒剤を内側全体に噴霧し、固く結ぶ。
- 念のため、ゴミ袋の外側、特に手持ち部分に消毒剤を噴霧する。
- 廃棄は一般家庭ごみ（通常可燃物ごみ）として廃棄する。  
注意：業者等に回収させる場合、感染性廃棄物となるので、高額になり、専用容器（有料）が必要になるので、ご家庭で、一般家庭ごみとして廃棄する。

# PD患者さんのための COVID-19の予防・感染対策

COVID-19に罹患しないため・罹患したときに知っておきたいこと！

## 参考資料

### 参考 おもな次亜塩素酸ナトリウム 商品

商品	次亜塩素酸Na濃度	0.1%次亜塩素酸ナトリウム作製方法
	5 W/V%	500mLペットボトルにペットボトルキャップ2杯分（5×2mL）のハイターを入れる。 ペットボトルに500mLの水道水を入れる。
	5 W/V%	500mLペットボトルにペットボトルキャップ2杯分（5×2mL）のキッチンハイターを入れる。 ペットボトルに500mLの水道水を入れる。
	1.1 W/V%	500mLペットボトルにミルトンキャップ2杯分（25×2mL）のミルトンを入れる。 ペットボトルに500mLの水道水を入れる。

COVID-19の消毒は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムに1分以上おき、消毒液を拭き取り、その後、水拭きを行ってください。金属類は腐食する可能性があります。

# 参考 防護服等をご家庭で準備することが難しい場合

	→		防護服は、100円均一のレインコートとレインズボンで代用。複数セット用意し、用事交換・洗浄（消毒）後、再利用。	→ 手に入らない場合	90Lゴミ袋で胴体、腕部分はラップ包帯で覆い、用事廃棄
	→		ビニール手袋は、100円均一で入手可能。再利用はしないで、使用後は廃棄する。		
	→		ゴーグルは100円均一の花粉保護メガネで代用。100円均一のフェイスシールドも発売開始。	→ 手に入らない場合	自作フェイスシールド（参照）
	→		ディスポーザブルキャップは100円均一のシャワーキャップで代用。再利用はしないで、使用後は廃棄する。		
	→		脚袋は100円均一の靴カバーで代用。複数個購入し、用事交換・洗浄後再利用。	→ 手に入らない場合	シャワーキャップを代用

# 参考 ポリ袋防護服の作製方法（簡易ポリ袋防護服）

家庭内感染を防ごう！ポリ袋で作る使い捨て防護服（医療ガウンタイプ）

[提供：アイグレイ合同会社]

<https://aegle-llc.com/wp-content/themes/marshmallowtouch/src/pdf/protective-suit.pdf>

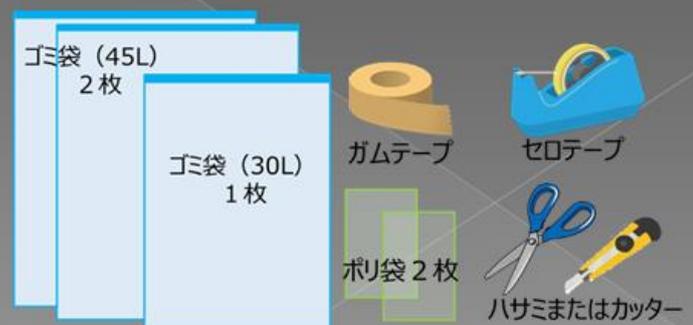
「医師監修！看護師が教えるポリ袋の使い捨て防護服の簡単な作り方！」

[提供：アイグレイ合同会社]

[https://www.youtube.com/watch?v=53azbQFOv\\_M](https://www.youtube.com/watch?v=53azbQFOv_M)

## ● 準備するもの

- ✓ ゴミ袋（45L：横65cm×縦80cm）；2枚
- ✓ ゴミ袋（30L：横50cm×縦70cm）；1枚
- ✓ ポリ袋（横23cm×縦34cm）；2枚
- ✓ セロテープ
- ✓ ガムテープ（養生テープが使い易い）
- ✓ ハサミ（またはカッター）

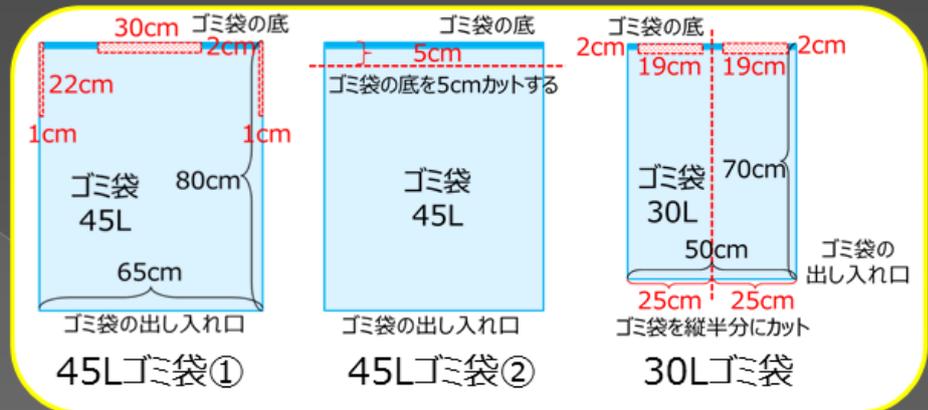


2020.06.16

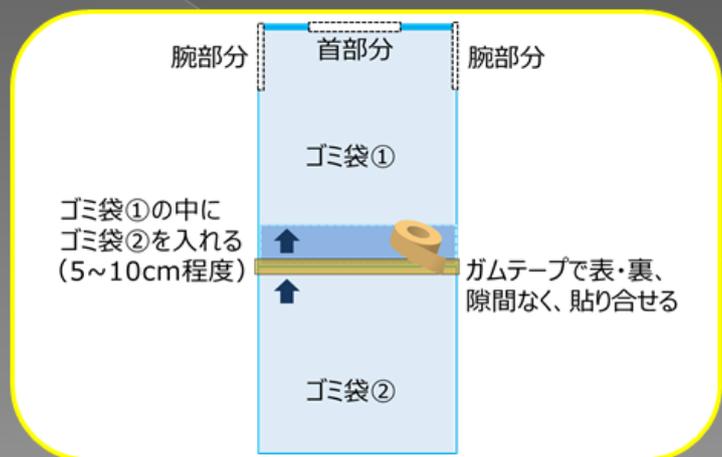
# 参考 ポリ袋防護服の作製方法（簡易ポリ袋防護服）

## ● 作製方法

1. 45Lのゴミ袋と30Lのゴミ袋を右のように、それぞれカットする。



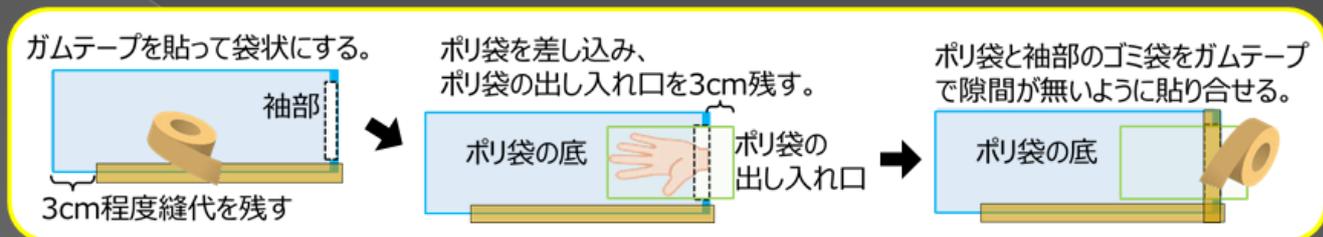
2. カットした45Lゴミ袋①、②を利用して、胴体部分の作製。



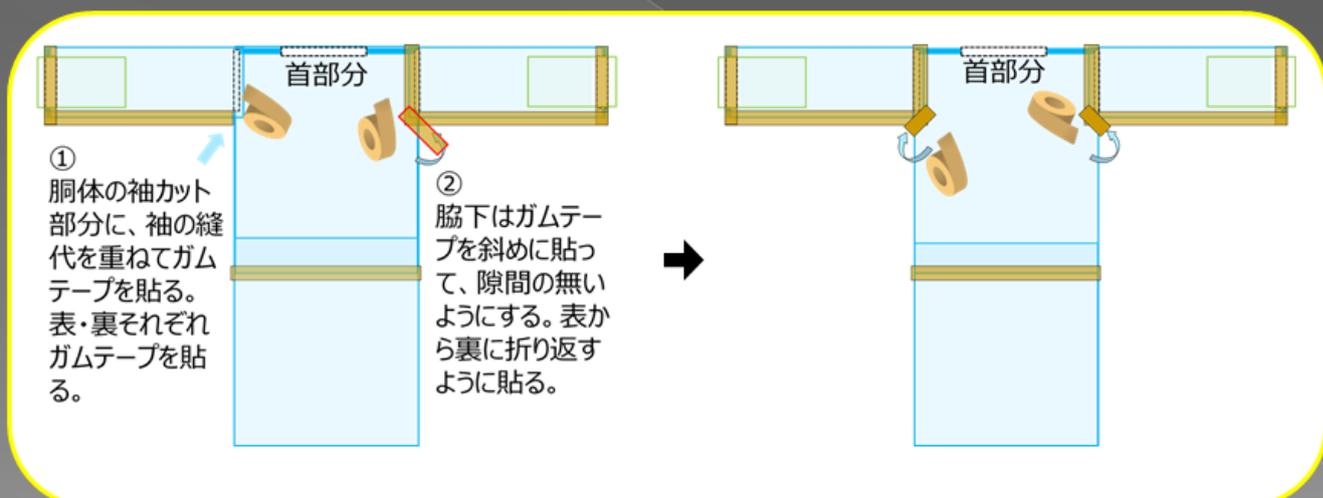
# 参考 ポリ袋防護服の作製方法（簡易ポリ袋防護服）

## ● 作製方法

3. カットした30Lゴミ袋とポリ袋で腕部分を作製



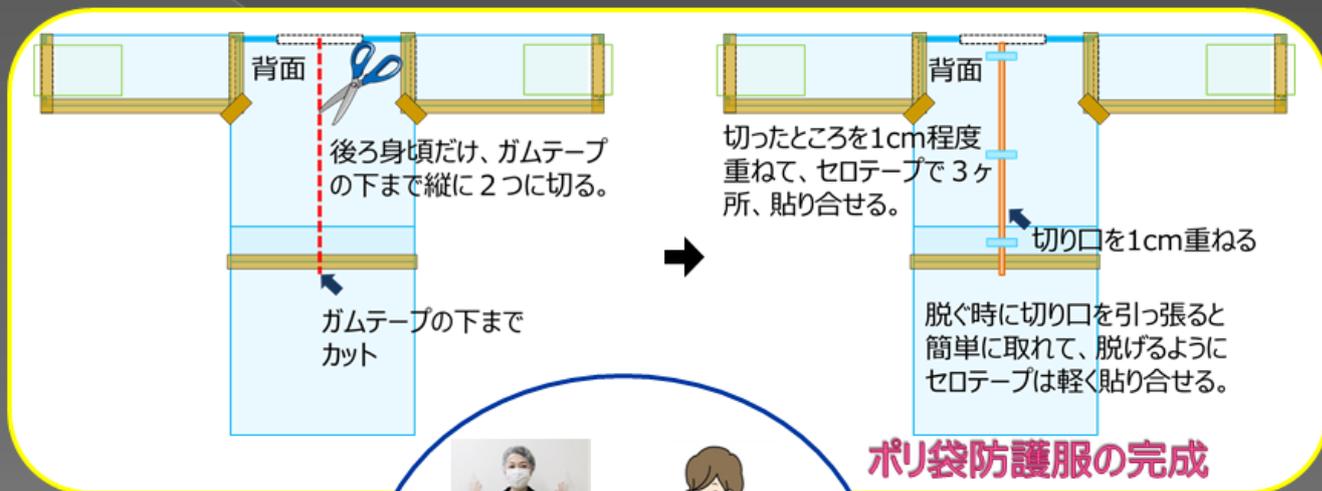
4. 作製した胴体部分と腕部分の接合



# 参考 ポリ袋防護服の作製方法（簡易ポリ袋防護服）

## ● 作製方法

5. ポリ袋防護服の脱衣のための後ろ身頃の切り込み。  
切り込み部分を重ね合わせて、セロテープで軽く貼り合せて完成





## 参考資料

- 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例を公表しました＜「新しい生活様式」の実践例＞,厚生労働省 HP（健康・医療） .  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_newlifestyle.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)
- Strategies regarding COVID-19 in PD patients.; Brought to you by the ISPD Standards and Guidelines Committee. <https://ispd.org/strategies-covid19/>
- Q&A on infection prevention and control for health care workers caring for patients with suspected or confirmed 2019-nCoV.; World Health Organization.  
<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/question-and-answers-hub/q-a-detail/q-a-on-infection-prevention-and-control-for-health-care-workers-caring-for-patients-with-suspected-or-confirmed-2019-ncov>
- Home care for patients with COVID-19 presenting with mild symptoms and management of their contacts.; World Health Organization.  
[https://www.who.int/publications-detail/home-care-for-patients-with-suspected-novel-coronavirus-\(ncov\)-infection-presenting-with-mild-symptoms-and-management-of-contacts](https://www.who.int/publications-detail/home-care-for-patients-with-suspected-novel-coronavirus-(ncov)-infection-presenting-with-mild-symptoms-and-management-of-contacts)
- Rational use of personal protective equipment for coronavirus disease 2019 (COVID-19) Interim guidance.  
[https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/331498/WHO-2019-nCoV-IPCPPE\\_use-2020.2-eng.pdf](https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/331498/WHO-2019-nCoV-IPCPPE_use-2020.2-eng.pdf)
- 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第4報改訂版）～まん延期における透析施設での具体的な感染対策～, 公益社団法人 日本透析医学会.  
[http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03\\_info/doc/20200402\\_corona\\_virus\\_15.pdf](http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03_info/doc/20200402_corona_virus_15.pdf)
- 家庭内感染を防ごう！ポリ袋で作る使い捨て防護服（医療ガウンタイプ） [提供：アイグレイ合同会社]  
<https://aegle-llc.com/wp-content/themes/marshmallowtouch/src/pdf/protective-suit.pdf>
- 「医師監修！看護師が教えるポリ袋の使い捨て防護服の簡単な作り方！」 [提供：アイグレイ合同会社]  
[https://www.youtube.com/watch?v=53azbQFOv\\_M](https://www.youtube.com/watch?v=53azbQFOv_M)
- 看護 roo! HP ; <https://www.kango-roo.com/sn/k/view/5602>
- 花王株式会社 HP お問い合わせ（Q&A） ;  
[https://www.kao.com/jp/soudan/topics/topics\\_107.html](https://www.kao.com/jp/soudan/topics/topics_107.html)

**ZERO SYSTEM**

**CAPD 接続システム**

**ZERO SYSTEM**

使いやすさとは何か? を追求し、  
CAPDの原点に帰り、手動式の良さを見直しました。  
安全性を追求し進化したマニュアルシステムです。



**1. 安全機構 クローズドシステム**  
シリコンゴム製のセプタムによる流路のクローズド化を実現。セプタム表面は指で触ることができません。

**2. 安心機構 フェイルセーフ構造**  
セプタムの採用により、万が一、チューブクランプを閉め忘れた時でも、透析液が外にこぼれない構造です。

**接続状態**  
クリック感で接続完了を確認

**2ヶ所で気密性を確保**  
コネクタを90度回転させるだけで簡単に接続でき、クリック感で接続完了を確認できます。

**切り離し**  
流路を自動的に閉鎖  
オスコネクタはセプタムのスリットを押し広げながら流路を確保し、セプタムとコネクタ開口部の両方で、気密性を確保します。

注液終了後、コネクタの接続を解除すると、セプタムが自然に閉じます。

**JMS**  
人と患者の未来を

APD装置  
PD-MINISOLA

眠っている間に腹膜透析

APD装置

**PD-MINISOLA**



**JMS**  
人と患者の未来を

## PD患者さんのためのCOVID-19の予防・感染対策

COVID-19に罹患しないため・罹患したときに知っておきたいこと！

2020年6月5日 第1版第1刷発行  
株式会社ジェイ・エム・エス  
2020年6月30日 第2版第1刷発行

本書に掲載された著作物の翻訳・複写・転載・データベースへの取り込みおよび送信に関する許諾権は、小社が保有します。本書の無断複製・コピー、スキャン・デジタルデータ化などの複製行為を無断で行うことは、著作権法上の限られた例外（私的使用目的の複製など）を除き禁じられています。業務目的での複製行為は内部的使用範囲であっても、また、私的使用の複製でも代行業者（第三者）に依頼することは違法となります。



**JMS**

